

---

# 殻を破る新たな発想と開発力増強で 開発スピード20%アップ

執行役員 内堀 康一 Koichi Uchibori

---

2020年は、新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、世界中の誰もがこの感染症とは無関係ではいられない年となりました。

当社グループ会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC. (以下、SDPという)においても感染拡大防止のためフィリピン政府からの一斉休業命令を受け、約2ヶ月間にわたり工場の操業が停止となりました。当時フィリピンに赴任していた私は、生産が復帰するまで現地に留まり、政府機関から発出された感染症拡大防止のための規制や操業条件をクリアするための各種対策を試行錯誤しながら進めました。

また、SDPで生産している冷却ファンやステッピングモータは、新型コロナウイルス感染者の治療用の人工呼吸器や肺機能検査装置、感染判定の血液検査装置やワクチン開発装置などにも採用いただいています。一刻も早く製品を供給することが、人命を救うことに繋がる状況であり、操業再開後は生産開始を最優先にしました。

当社が目指す、高品質、高性能、高信頼の製品が医療機器分野でも多く採用されていることを実感しました。今後も世の中から必要とされる製品群を増やし社会に貢献することが当社の使命であります。

さて、2016年4月からスタートし、2021年3月で終了した第8次中期経営計画では、「品質、性能、信頼性において、世界一の製品を絶え間なく開発し続ける」を目指し、クーリングシステム事業部、パワーシステム事業部およびサーボシステム事業部の各事業部は、この5年間で計70件の新製品を発表しました。

クーリングシステム事業部では、計31件の新製品を発表しました。

サーバ・ストレージ、通信機器など、装置の高性能化、高集積化による冷却性能の要求により、業界No.1<sup>\*</sup>の冷却性能を満たす高風量・高静圧ファンの製品開発をおこないました。

また、冷却を目的とした製品開発だけではなく、お客さまの声をもとに開発した、ファンの回転速度を外部から制御できるPWMコントローラや、冷却ファン選定のために使用する、通風抵抗と動作風量を簡単に

---

実測できる業界初<sup>\*</sup>のエアフローテスターなど、今後は空気の流れに関連した製品も増やします。

パワーシステム事業部では、計22件の新製品を発表しました。

無停電電源装置では、広い使用温度範囲、メンテナンスフリー、長時間バックアップ、省スペース化に優れたリチウムイオン電池を搭載した無停電電源装置や、太陽光発電につづく、再生可能エネルギーとして普及している風力発電や小中水力発電のための発電システム用パワーコンディショナを開発しました。

サーボシステム事業部では、計17件の新製品を発表しました。

アンプやモータの稼動状況から、装置の故障を予測できるモニタリング機能を搭載したサーボアンプや、ロボットや搬送装置などのコントローラの状態をスマートフォンやタブレットからワイヤレスでモニタリングできる製品など、IoTに関連した製品も増やしています。

今後もお客さまの生産性向上に貢献する製品開発を進めます。

2021年4月からスタートした第9次中期経営計画は、「殻を破る」を目的としています。重要方針として「新たな夢を実現する製品を開発する」があります。

これまでに構築した技術と新たな技術を組み合わせ、従来の殻を破る新しい製品、新たな価値を創出する製品開発をおこなうとともに、開発スピード20%アップを目指します。

この目標を実現するために2021年5月にテクノロジーセンター新棟を開設しました。

実験室は約2倍に拡大し、設計・開発環境は大幅に向上しました。2019年3月に開設したSDPテクノロジーセンターとともに、殻を破る新たな発想と開発力増強により、グローバルな製品開発を加速し、より一層お客さまから評価される企業を目指します。

<sup>\*</sup>2021年5月15日現在。当社調べ。